

Carot One

真空管搭載モデル

真空管非搭載モデル

12Wプリメインアンプ

GILDOLO
 <シルドロー>
 ¥OPEN 投票No.126
 SPEC ●外形寸法:67W×60H×125Dmm

デジタルらしさもこのサイズで実現

プリメインアンプ アンプ出力
 ヘッドホンアンプ アナログ入力

DACだけほしい

USB DAC内蔵
 プリアンプ

PACOLO
 <パコロ>
 ¥OPEN 投票No.127
 SPEC ●対応サンプリング周波数/量子化ビット数:最大96kHz/24bit ●外形寸法:67W×28H×100Dmm

パソコン専用のDACを採用

プリアンプ アナログ入力
 USBデジタル入力

12W
 パワーアンプ

DIEGOLO EX
 <ディエゴローEX>
 ¥OPEN 投票No.128
 SPEC ●外形寸法:67W×28H×110Dmm(本体部)、67W×28H×40Dmm(セパレートユニット部)

接続ケーブルにもこだわる
 パワーアンプ

パワーアンプ アンプ出力
 アナログ入力

MM/MC
 フォノアンプ

イヤホン

AUGUSTOLO
 <アウグストロー>
 ¥OPEN 投票No.130

他には数少ない
 超小型フォノアンプ

TITTA
 <チッタ>
 ¥OPEN 投票No.129

キャロットワンらしい
 カナル型イヤホン

12Wプリメインアンプ

本機が
 原点

真空管と異なる音が
 いい

プリメインアンプ
 ヘッドホンアンプ
 アンプ出力
 アナログ入力

ERNESTOLO EX
 <エルネストローEX>
 ¥OPEN 投票No.123
 SPEC ●真空管:JJ ECC802S ●外形寸法:67W×115H×125Dmm

瑞々しさに満ちあふれるサウンド

清々しいトーンが持ち味だ。ロックではボーカルがすっきりと伸びやかに表現される。また、アコースティックギターやパーカッションなどの細かな音も拾い上げる。クラシックのピアノ曲でも同様に、タッチを瑞々しく伝えている。一方で、ジャズではベースがやや淡くなり、さりとした味わいでまとめる。

ヘッドホンに
 特化!

プリアンプ&
 ヘッドホンアンプ

FABRIZIOLO EX
 <ファブリジオーロEX>
 ¥OPEN 投票No.124
 SPEC ●真空管:JJ ECC802S ●外形寸法:67W×80H×125Dmm

ヘッドホンアンプに機能を特化!

プリアンプ アナログ入力
 ヘッドホンアンプ

持ち運ぶなら
 こちら

ポータブル
 ヘッドホンアンプ

NIK-58 TUBE
 <NIK-58チューブ>
 ¥OPEN 投票No.125
 SPEC ●真空管:Philips JAN6111WA ●外形寸法:58W×23H×85Dmm

持ち歩ける真空管サウンド

ヘッドホンアンプ アナログ入力
 バッテリー内蔵

NEW

24Wプリメインアンプ

SUPER ERNESTOLO EX
 <スーパーエルネストローEX>
 ¥OPEN 投票No.121
 SPEC ●真空管:JJ ECC802S ●外形寸法:67W×115H×125Dmm

ボーカルの切れ味が一層高まる

アンプの力強さを如実に感じさせる。ロックではボーカルの切れ味がぐっと高まった。また、ベースやドラムスが強く押し出され、それらの輪郭も明瞭なため、音楽に躍動感が加わりだす。華やかなサウンドだ。女性ジャズボーカルはしっとり濃密。ピアノやサクソの高域もマイルドで、耳への刺激が少ない。

プリメインアンプ アンプ出力
 ヘッドホンアンプ アナログ入力

NEW

USB DAC内蔵
 24Wプリメインアンプ

ERNESTOLONE EX
 <エルネストローネEX>
 ¥OPEN 投票No.122
 SPEC ●真空管:JJ ECC802S ●対応サンプリング周波数/量子化ビット数:最大96kHz/24bit ●外形寸法:75W×135H×125Dmm

小音量でも持ち味の良バランスを発揮

PCとUSBケーブルでつないでハイレゾファイルを再生。ロックはどっしりと重心低く表現するが、決して嫌味にならない。まるでやがて生々しいボーカルも印象的だった。ジャズでは特定のパートが突出することなく、演奏のまとまりのよさを感じさせる。ボリュームを絞っても、バランスが崩れない。

プリメインアンプ アンプ出力
 ヘッドホンアンプ アナログ入力
 USBデジタル入力

日本だけの
 特別仕様

EXとは?

EXエディションは、オペアンプにBurrBrown「OPA2604AP」を搭載。真空管には6V6922管から、12VのスパキアJJ製ECC802S管に変更。さらに、国内で真空管のバイアスや出力の調整までされた日本専用のステイタスモデル。それを誇示するかのよう、真空管ソケットのリングと側面のシルバープレートに、EXCLUSIVE EDITIONの文字が刻まれている。



イタリア生まれの「キャロットワン」刷新されたラインアップに迫る

2010年にイタリアで産声を上げてから、破竹の勢いで新製品を発売し続けるキャロットワン。日本専用モデル「EXCLUSIVE Edition(EX)」が人気を集め、新製品の登場に伴いラインアップも刷新した。今回は原点である「プリメインアンプ」「ERNESTOLO」を軸に、各モデルの特長をまとめよう。

取材:文/中林直樹

記のチャート(参照)。その中心となるのは「プリメインアンプ」の「ERNESTOLO EX」。冒頭に記した初代機から、オペアンプや真空管をより高品位なものに変更し、さらに国内で真空管部のバイアスや出力レベルの調整を行っている。それがEX(エクスクルーシヴ・エディション)たるゆえんだ。

ERNESTOLO EXには上位モデルが存在する。「SUPER ERNESTOLO EX」である。25W×24Ωと大幅にパワーを向上させたのが最大の特徴。組み合わせるスピーカーの選択肢が格段に広くなった。また、コンデンサーやスピーカーターミナルもグレードアップさせた、その名にふさわしい一台である。

さらに、ERNESTOLO EXにUSB DACを組み込んだのが「ERNESTOLONE(エルネストローネ)EX」だ。96kHz/24bitまでのハイレゾファイルもサポート。パワーはSUPER ERNESTOLO EXと同程度で高めている。

デスクトップを彩る、小さくてチャーミングなルックス。にもかかわらず、本格的なサウンドを届けてくれる。そのよい意味でのギャップにいつも驚かされる。

アイデンティティーのひとつ「真空管モデルがパワーアップ」

「ERNESTOLO(エルネストロー)」という、真空管をプリメイン部に搭載したプリメインアンプでデビューしたキャロットワン。以来、ナポリから届けられるコンバクトで小技の利いた製品群は瞬く間にオーディオファンの知るところとなった。それには、オレンジというこれまでのオーディオには見られなかった配色が要因となっているのは明らかだ。カラーアイデンティティーといってもよいだろう。そしてもうひとつアイデンティティーがある。それは、前述のように主要モデルに真空管が搭載されていることである。

そんな独自性はそのままに、キャロットワンはラインアップを刷新した。総合オーディオブランドとして成長するための次なるフェーズに入ったのだ(製品構成は上